

霧島市公共施設管理計画(案)に対する意見と市の考え方

1 パブリックコメント

整理番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
1	計画全体	過疎化が進めば、中心部の過密化につながり、問題がどんどん複雑化し、財政的負担が増えること間違いなしと思います。しっかりお考えください。	本計画策定に限らず、市政への貴重な御意見として承ります。
2	P7 整備状況	まだ道路の整備さえもはっきり出来ていないところがあります。そして、学校が廃校になったり、施設が利用頻度が少なくなっているところの地区住民の意見をどのように反映されるつもりですか。	平成27年度の早い時期に、第1期(平成27年度～31年度)の用途別計画(案)及び地区別計画(案)を策定し、それぞれの地区にお示しをして意見を伺い、決定してまいります。 なお、公共建築物編においては、数値目標を示しておりますので、それに沿った計画をお示しすることとなります。
3	P10 5) 6行 ほか	安易な使用料金の値上げにならないよう、無駄は省かなければなりません。利用者の意見をしっかりとくみ上げて住民の福祉につながる手法をよく検討してほしいものです。拙速に走らないでください。	無駄を省き、住民サービスの水準をできる限り維持していくような手法を検討し、その上で使用料の適正化を検討してまいります。
4	P22 図表24 (3段 2〇) ほか	施設の長寿命化がうたわれていましたが、使用するものが利用しやすいような細かな工夫が生きているものにしてほしいものです。	利用者のニーズを踏まえたサービスの提供に努めてまいります。
5	P31 (概要P26) 推進体制	今後の計画実行に当たって地区などの意見を伺いながら、削減数値目標の達成や適正管理・適正サービスを目指しとありますが、言葉だけで終わらないよう内容のあるものにしてほしいものです。	整理番号2のとおり。

霧島市公共施設管理計画(案)に対する意見と市の考え方

2 外部委員からの意見

整理番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
1	計画全体	PDCAをどのように回していくのか、計画を実施される前にしっかりと決めて実行して頂きたい。市の取り組みは、その辺りが曖昧になっている事が多いので心配です。	(庁内体制)所管課と事務局において、当該年度に取り組む内容等を検討し、推進本部で決定をいたします。 その後、所管課で計画を実施していきます。 その際に、推進本部は、伴走型の進行管理を行います。 また、事業終了後にも成果を確認いたします。 実施状況を踏まえて、改善点を洗い出し、翌年度の計画に活かしていきます。 (検証委員会)当該年度に取り組む内容がまとまった段階で、意見を聴取します。 また、計画実施後の検証の段階で、意見を聴取し、翌年度の計画に反映させます。
2	P2 (4)	基本は5年ごとで良いと考えますが、計画開始当初はもっとこまめに状況を確認し、見直すべきと考えます。スタート時点では完成度の高い計画だと考えていても、実際にやってみると予想していなかった事が顕在化したり、環境変化等を加味した見直しも当初はしっかりやるべきではないかと考えます。そのあたりを考慮して頂きたい。	今回策定している霧島市公共施設管理計画(霧島市公共施設管理基本方針・霧島市公共施設管理基本計画)については、5年ごとに見直しをしていきます。 各年度の実施に当たっては、整理番号1に示すように進めてまいります。
3	P5 (2) P8 3)	今後は交付税の合併特例措置もなくなる事から、不足金額がさらに大きくなる事、そのため全ての公共施設を維持していく事は困難であるばかりか、大幅な縮減は避けられない状況である事を理解してもらえよう内容に表現を改めるべき。	P5(2)財政の状況の表現を変更。 《資料5 参照》
4	P24 1-2行	維持可否の見極め時は、全体の維持管理目標コストと整合性が取れた結果となっているかの確認を行い、目標に到達しない場合は、見直しする事を見極め時のプログラムに盛り込んで頂きたい。	平成27年度の早い時期に、数値目標に沿った第1期の用途別計画及び地区別計画を策定します。 また、第2期以降も、期首に5か年の計画を策定する段階で見直しを行い、実施してまいります。
5	P24 3-5行	5年以内:即廃止を目指すものを明確にするべき。 10~20年程度:長期間掛ける必要があるものも幾らかあると考えられるが、もっと短期に処理すべきものもどんどん先送りされる事がないようにして頂きたい。そういう意味では、40年後の目標値だけでなく、途中段階での目標も設けるべきではと考える。	44ページの表にあるように、5年ごとの数値目標を達成できるよう進めてまいります。